

注3

大学番号：111

[平成26年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

注1

届出

東京工科大学 医療保健学部 臨床検査学科

注2

## 【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人片柳学園

平成27年5月1日現在

### 作成担当者

担当部局（課）名 事務局

職名・氏名 ジョウ カンノ マチオ  
次長 菅野真智男

電話番号 03-6424-2111

（夜間） 03-3732-1110

F A X 03-6424-2112

e-mail jm-kmgyomu@stf.teu.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部(平成◇◇年度より変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成27年3月30日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

## 医療保健学部

<臨床検査学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	9
4. 既設大学等の状況	11
5. 教員組織の状況	13
6. 留意事項等に対する履行状況等	19
7. その他全般的事項	20

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人片柳学園

## (2) 大学名

東京工科大学

## (3) 大学の位置

〒144-8535 東京都大田区西蒲田5丁目23番22号  
(〒192-0982 東京都八王子市片倉町1404番地1号)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(かたやなぎ こう) 片柳 鴻 (昭和31年7月)		
学長	(かるべ いさお) 軽部 征夫 (平成20年6月)		
学部長	(やなぎさわ のぶお) 柳澤 信夫 (平成22年4月)	(うめだ まさる) 梅田 勝 (平成27年4月)	柳澤信夫が任期満了により退職のため、平成27年度から変更(27)
学科長等	(ほそがや しげみ) 細萱 茂実 (平成26年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成25年度に報告済の内容 → (25)

平成27年度に報告する内容 → (27)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。  
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ 様式は, 平成24年度開設の4年制の学科の場合(平成27年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
医療保健学部 臨床検査学科 学士(臨床検査学)	4年	80人	— 年次人	320人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平均入学定員超過率	開設年度から提出年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	80人 ( - ) [ - ]	—人 ( - ) [ - ]	80人 ( - ) [ - ]	—人 ( - ) [ - ]	1.01倍	一倍					
志願者数	1,385 ( - ) [ - ]	— ( - ) [ - ]	815 ( - ) [ - ]	— ( - ) [ - ]	— ( - ) [ - ]	— ( - ) [ - ]	— ( - ) [ - ]	— ( - ) [ - ]			
受験者数	1,354 ( - ) [ - ]	— ( - ) [ - ]	798 ( - ) [ - ]	— ( - ) [ - ]	— ( - ) [ - ]	— ( - ) [ - ]	— ( - ) [ - ]	— ( - ) [ - ]			
合格者数	228 ( - ) [ - ]	— ( - ) [ - ]	253 ( - ) [ - ]	— ( - ) [ - ]	— ( - ) [ - ]	— ( - ) [ - ]	— ( - ) [ - ]	— ( - ) [ - ]			
B 入学者数	84 ( - ) [ - ]	— ( - ) [ - ]	79 ( - ) [ - ]	— ( - ) [ - ]							
入学定員超過率 B/A	1.05		0.98		—		—				

- (注) ・ 数字は, 平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ ( )内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (( ))書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ [ ]内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「—」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。
- ・ 「開設年度から提出年度までの平均入学定員超過率」は, 完成年度を越えて報告書を提出する大学(「改善意見等対応状況報告書」を提出する大学)のみ記入してください。「設置計画履行状況等報告書」の場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ - ] ( - ) 84	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) 79	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) -	
2年次	/		[ - ] ( - ) 84	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) -	
3年次			/		/		[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) -
4年次	/						/		[ - ] ( - ) -
計			[ - ] ( - ) 84	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) 163	[ - ] ( - ) -			[ - ] ( - ) -

- (注)
- ・ 数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
  - ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成24年度 入学者	— 人	— 人	平成24年度	— 人	— 人		— %
			平成25年度	— 人	— 人		
			平成26年度	— 人	— 人		
			平成27年度	— 人	— 人		
平成25年度 入学者	— 人	— 人	平成25年度	— 人	— 人		— %
			平成26年度	— 人	— 人		
			平成27年度	— 人	— 人		
平成26年度 入学者	84 人	0 人	平成26年度	0 人	0 人		0 %
			平成27年度	0 人	0 人		
平成27年度 入学者	79 人	0 人	平成27年度	0 人	0 人		0 %
合 計	163 人	0 人					0 %

(注)・ 数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・ 各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・ 各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・ 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成27年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

## 2 授業科目の概要

<医療保健学部 臨床検査学科>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
基礎教育科目	哲学	1前		2							兼	1		
	芸術論	1前		2							兼	1		
	科学論	1後		2							兼	1		
	心理学	1後		2							兼	1		
	倫理学	2後		2							兼	1		
	宗教学	2前		2							兼	1		
	政治学	1前		2							兼	1		
	経済学	1前		2							兼	1		
	法学	1後		2							兼	1		
	コミュニケーション論	2前		2							兼	1		
	英語	フレッシュマンイングリッシュⅠ	1前	2							兼	3		
		フレッシュマンイングリッシュⅡ	1後	2							兼	3		
	心身ウェルネス	栄養と健康	1前		2							兼	1	
		スポーツ・コンディショニング	1後		2							兼	1	
		集中実技Ⅰ	1前		1							兼	1	
		集中実技Ⅱ	1後		1							兼	1	
		コンピュータ	コンピュータリテラシー演習Ⅰ	1前	1							兼	1	
			コンピュータリテラシー演習Ⅱ	1後	1							兼	1	
			コンピュータ概論Ⅰ	1前	2							兼	1	
			コンピュータ概論Ⅱ	1後	2							兼	1	
			応用コンピュータⅠ	2前		2						兼	1	
			応用コンピュータⅡ	2後		2						兼	1	
	人間形成	応用コンピュータ演習Ⅰ	2前		1							兼	1	
		応用コンピュータ演習Ⅱ	2後		1							兼	1	
	自然科学	フレッシュャーズゼミ	1通	2			5	2	3	6	0			
		医療科学の基礎Ⅰ	1前	2			1			1				
		医療科学の基礎Ⅱ	1後		2							兼	3	
		生物の基礎	1前	2			1							
		化学の基礎	1後	2			1							
		物理の基礎	1後		2							兼	1	
		数学の基礎	1前		2							兼	1	
		統計学	2前		2							兼	1	
小計 (32科目)		—	18	40	0	5	2	3	6	0	兼	20	21	
専門基礎科目	解剖学	1前	2								兼	+	2	
	解剖学実習	1後	1								兼	+	2	
	生理学	1前	2								兼	1		
	生理学実習	2前	1								兼	1		
	生化学	1後	2			1								
	生化学実習	2前	1					1	1					
	臨床検査概論	1前	1			1								
	病理学	1後	2				1							
	臨床微生物・免疫学	1前	2			2					兼	+		
	血液学	2前	2			1								
	公衆衛生学	2後	2								兼	1		
	公衆衛生学実習	3前	1								兼	1		
	医学概論	1前	2								兼	1		
	医療リスクマネジメント	4後	2								兼	1		
	保健医療福祉総論	4前	2								兼	1		
	医用工学概論	2後	2								兼	1		
	医用工学実習	2後	1								兼	1		
小計 (17科目)		—	28	0	0	3	4	1	1	1	0	兼	8	7

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	臨床医学総論	2後	2			1							
	臨床病理学	3前	2								兼	1	
	病態解析学	3後	2								兼	1	
	病理検査学	2前	2				1						
	病理検査学実習I	2後	1				1		1				
	病理検査学実習II	3前	1				1		1				
	血液検査学	2前	2			1							
	血液検査学実習I	2後	1			1		1	1				
	血液検査学実習II	3前	1			1		1	1				
	医動物学（含む実習）	2前	2								兼	3	
	臨床化学検査学I	2前	2			1							
	臨床化学検査学II	3前	2			1							
	臨床化学検査学III（含む実習）	3前	2				1		1				
	臨床化学検査学実習I	2後	1			1			1				
	臨床化学検査学実習II	3前	1				1		1				
	一般検査学	1後	2				1						
	一般検査学実習	2前	1				1		1				
	微生物検査学	1後	2			1							
	微生物検査学実習I	2前	1			1			1				
	微生物検査学実習II	3前	2			1			1				
	免疫検査学	2前	2					1					
	免疫検査学実習	3前	2					1	1				
	遺伝子検査学	2後	1					1					
	遺伝子検査学実習	2後	1					1	1				
	生理検査学I	2前	2					1					
	生理検査学II	2後	1					1					
	生理検査学実習I	2後	1					1	1				
	生理検査学実習II	3前	2					1	1				
	画像検査学	2前	2					1					
	画像検査学実習	2後	1					1	1				
	検査管理総論	3前	2			1							
	臨床検査総合演習	3後	2					1	1				
	医療情報処理演習I	2後	1			1							
	医療情報処理演習II	3後	1			1							
	検査機器総論（含む実習）	1後	1					1	1				
	チーム医療概論	3後		2		1							
	救急総論	3前		2							兼	3	
	健康食品総論	3後		2			1						
	栄養化学	4前		2			1						
	薬理学	2後		2			1						
	卒業研究I	4前	2			5	2	3					
	卒業研究II	4後	2			5	2	3					
	臨地実習	3後	10			2	2	2	6				
小計（43科目）		—	68	10	0	5	2	3	6	0	兼	7	
合計（92科目）		—	114	50	0	5	2	3	6	0	兼	34	

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て（兼任、兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時（平成27年度に認可された大学等は設置認可時）より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
  - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
  - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。（今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。）
  - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等（平成19年度認可以前）についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 65	科目 27	科目 0	科目 92	科目 65 [ 0 ]	科目 27 [ 0 ]	科目 0 [ 0 ]	科目 92 [ 0 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目 「該当なし」

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにもかかわらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。  
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目 「該当なし」

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目と廃止科目の計	0	=	
設置時の計画の授業科目数の計	92		0.00

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。

### 3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備考	
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計		
	校 舎 敷 地	計	0㎡	計 365,600.03㎡	計 6,292.01㎡	計 371,892.04㎡	【区分：共用】 ①蒲田 日本工学院専門学校との共 用： 収容定員5,230人 基準面積 なし 共用の合計 20,657.52㎡のうち、 借用面積31.29㎡ 借用期間 平成21年4月1日 ～51年3月31日 ②八王子 日本工学院八王子専門学校と の共用： 収容定員5,440人 基準面積 なし 【区分：共用する他の学校等 の専用】 ①日本工学院専門学校 ②日本工学院八王子専門学校
		①	0㎡	① 20,657.52㎡	① 6,292.01㎡	① 26,949.53㎡	
		②	0㎡	② 344,942.51㎡	② 0㎡	② 344,942.51㎡	
	運 動 場 用 地	計	0㎡	計 36,158.00㎡	計 0㎡	計 36,158.00㎡	
		①	0㎡	① 0㎡	① 0㎡	① 0㎡	
	②	0㎡	② 36,158.00㎡	② 0㎡	② 36,158.00㎡		
小 計	計	0㎡	計 401,758.03㎡	計 6,292.01㎡	計 408,050.04㎡		
①	0㎡	① 20,657.52㎡	① 6,292.01㎡	① 26,949.53㎡			
②	0㎡	② 381,100.51㎡	② 0㎡	② 381,100.51㎡			
そ の 他	計	0㎡	計 0㎡	計 0㎡	計 0㎡		
	①	0㎡	① 0㎡	① 0㎡	① 0㎡		
②	0㎡	② 0㎡	② 0㎡	② 0㎡			
合 計	計	0㎡	計 401,758.03㎡	計 6,292.01㎡	計 408,050.04㎡		
	①	0㎡	① 20,657.52㎡	① 6,292.01㎡	① 26,949.53㎡		
②	0㎡	② 381,100.51㎡	② 0㎡	② 381,100.51㎡			
(2) 校 舎	専 用		共 用	共用する他の 学校等の専用	計		
	計	140,622.010㎡	計 40,970.610㎡	計 96,909.260㎡	計 278,501.880㎡	【区分：専用】 ①蒲田 ②八王子 【区分：共用】 ①日本工学院専門学校との共 用： 収容定員5,230人 基準面積14,860㎡ 借用面積31.29㎡ 借用期間 平成21年4月1日 ～51年3月31日 ②日本工学院八王子専門学校 との共用： 収容定員5,440人 基準面積15,580㎡ 【区分：共用する他の学校等 の専用】 ①日本工学院専門学校 ②日本工学院八王子専門学校	
	①	30,747.660㎡	① 9,279.950㎡	① 47,916.320㎡	① 87,943.930㎡		
	②	109,874.350㎡	② 31,690.660㎡	② 48,992.940㎡	② 190,557.950㎡		
計	140,622.010㎡	計 40,970.610㎡	計 96,909.260㎡	計 278,501.880㎡			
①	30,747.660㎡	① 9,279.950㎡	① 47,916.320㎡	① 87,943.930㎡			
②	109,874.350㎡	② 31,690.660㎡	② 48,992.940㎡	② 190,557.950㎡			
(3) 教 室 等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設		
	14 室	1 室	62 室	6 室 (補助職員 0 人)	6 室 (補助職員 0 人)		
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数			
	医療保健学部 臨床検査学科			12 室			
区 分		内 容				備考	
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標 本
		〔うち外国書〕	〔うち外国書〕	電子ジャーナル			
	冊	種	〔うち外国書〕	点	点	点	
	医療保健学部 臨床検査学科	2,912 [272] (2,226 [217])	15 [3] ( 15 [3])	4 [1] ( 4 [1])	160 (117)	690 (690)	0 (0)
計	2,912 [272] (2,226 [217])	15 [3] ( 15 [3])	4 [1] ( 4 [1])	160 (117)	600 (690)	0 (0)	

(6) 図書館	面積		閲覧座席数		収納可能冊数				
	1,578㎡		220席		63,000冊				
(7) 体育館	面積		体育館以外のスポーツ施設の概要						
	10,645㎡		テニスコート(5面)、50m公認プール						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書購入費には電子ジャーナル・データベースの整備費(運用コスト含む)を含む
		教員1人当り研究費等	500千円	500千円	図書購入費	15,000千円	3,300千円	3,300千円	
		共同研究費等	—千円	—千円	設備購入費	132,000千円	240,000千円	—千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,900千円	1,590千円	1,626千円	1,662千円	—千円	—千円		
学生納付金以外の維持方法の概要			検定料収入、手数料収入、資産運用収入、事業収入等をもって支弁する。						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成27年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(27)」を「備考」に赤字で記入してください。  
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称	東京工科大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入学 定 員	収 定 容 員	学位又 は 称 号	平均入学 定員 超過率	開 年 設 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
ハイク・情報メディア 研究科 ハイク専攻 博士後期課程	3	2	—	6	博士（ハイク） 又は博士（工学）	1.16	平成17 年度	東京都八王子市 片倉町1404番地 1号	
コンピュータサイエンス専攻 博士後期課程	3	2	—	6	博士（コン ピュータサイ エンス）又は 博士（工学）	1.00	平成17 年度	同上	
メディアサイエンス専攻 博士後期課程	3	2	—	6	博士（メ ディアサイ エンス）又は 博士（工学）	1.00	平成17 年度	同上	
ハイク専攻 修士課程	2	40	—	80	修士（ハイク） 又は修士（工学）	1.08	平成17 年度	同上	
コンピュータサイエンス専攻 修士課程	2	40	—	80	修士（コン ピュータサイ エンス）又は 修士（工学）	1.02	平成17 年度	同上	
メディアサイエンス専攻 修士課程	2	40	—	80	修士（メ ディアサイ エンス）又は 修士（工学）	0.48	平成17 年度	同上	
アントレプレナー専攻 修士課程	2	20	—	40	修士（アン トレプレ ナー）	0.52	平成17 年度	同上	
応用生物学部 応用生物学科	4	240	2年次 18人 3年次 9人	1,032	学士（ハイク）	1.14	平成15 年度	同上	平成20年4月入学 者から、バイオニクス学部バイオニクス学科の名称変 更を、応用生物学部 応用生物学科に変更した。
コンピュータサイエンス学部 コンピュータサイエンス学科	4	480	2年次 18人 3年次 12人	1,998	学士（コン ピュータサイ エンス）	1.18	平成15 年度	同上	
メディア学部 メディア学科	4	400	2年次 27人 3年次 12人	1,705	学士（メ ディア学）	1.20	平成11 年度	同上	

既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学員定員	収容定員	学位又は称号	平均定員超過率	開年度	所在地	
工学部									
機械工学科	4	100	2年次 5人	415	学士 (工学)	1.21	平成27 年度	東京都八王子市 片倉町1404番地 1号	
電気電子工学科	4	100	2年次 5人	415	学士 (工学)	1.42	平成27 年度	同上	
応用化学化	4	80	2年次 3人	329	学士 (工学)	1.12	平成27 年度	同上	
医療保健学部									
看護学科	4	120	—	480	学士(看 護学)	1.04	平成22 年度	東京都大田区 西蒲田5丁目23 番22号	平成26年度より 入学定員増 80名→120名 (40名増)
臨床工学科	4	80	—	320	学士(臨 床工学)	1.07	平成22 年度	同上	
理学療法学科	4	80	—	320	学士(理 学療法 学)	1.07	平成22 年度	同上	
作業療法学科	4	40	—	160	学士(作 業療法 学)	1.07	平成22 年度	同上	
臨床検査学科	4	80	—	320	学士(臨 床検査 学)	1.01	平成26 年度	同上	
デザイン学部									
デザイン学科	4	200	—	800	学士(デ ザイン)	1.06	平成22 年度	同上	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成27年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。  
※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
  - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
  - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
  - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
  - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<医療保健学部 臨床検査学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授 (学科長)	木村 雅 細萱 茂実	平成26年4月	フレッシュアーズゼミ 臨床検査概論 検査管理総論 医療情報処理演習Ⅰ 医療情報処理演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨地実習						
専	教授	ゴトウ マサ 後藤 正男	平成26年4月	フレッシュアーズゼミ 化学の基礎 臨床化学検査学Ⅱ 臨床化学検査学実習Ⅰ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ						
専	教授	ヨコタ ヤス 横田 恭子	平成27年4月	フレッシュアーズゼミ 血液学 臨床医学総論 血液検査学 血液検査学実習Ⅰ 血液検査学実習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専	教授	ヨコタ ヤス 横田 恭子	平成26年4月	フレッシュアーズゼミ 血液学 臨床医学総論 血液検査学 血液検査学実習Ⅰ 血液検査学実習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	平成27年4月から就任する予定であったが、平成26年4月から本学専任教授に就任したため。(26)
					専	教授	ヨコタ ヤス 横田 恭子	平成27年4月	臨床微生物・免疫学	●●●●教授の本務が応用生物学部になったため、担当科目を追加(27)
専	教授	カザキ ミツロ 岡崎 充宏	平成26年4月	フレッシュアーズゼミ 微生物検査学 微生物検査学実習Ⅰ 微生物検査学実習Ⅱ チーム医療概論 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨地実習	専	教授	カザキ ミツロ 岡崎 充宏	平成27年4月	臨床微生物・免疫学	●●●●教授の本務が応用生物学部になったため、担当科目を追加(27)
専	教授	サキ サトシ 佐々木 聡	平成26年4月	フレッシュアーズゼミ 医療科学の基礎Ⅰ 生物の基礎 生化学 臨床化学検査学Ⅰ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ						
専	准教授	ヨシダ ショウコ 吉田 祥子	平成26年4月	フレッシュアーズゼミ 病理検査学 病理検査学実習Ⅰ 病理検査学実習Ⅱ 栄養化学 薬理学 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨地実習						
専	准教授	クリハラ ユリコ 栗原 由利子	平成26年4月	フレッシュアーズゼミ 臨床化学検査学ⅡⅢ(含む実習) 臨床化学検査学実習Ⅱ 一般検査学 一般検査学実習 健康食品総論 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨地実習						
専	講師	エノモト ミリ 榎本 みのり	平成27年4月	フレッシュアーズゼミ 生理検査学Ⅰ 生理検査学Ⅱ 生理検査学実習Ⅰ 生理検査学実習Ⅱ 画像検査学 画像検査学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨地実習						
専	講師	ヒロシ マサコ 廣田 雅子	平成26年4月	フレッシュアーズゼミ 血液検査学実習Ⅰ 血液検査学実習Ⅱ 免疫検査学実習 臨床検査総合演習 検査機器総論(含む実習) 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨地実習						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	講師	ミカミ アカネ 三上 あかね	平成26年4月	フレッシュアーズゼミ 生化学実習 免疫検査学 遺伝子検査学 遺伝子検査学実習 卒業研究I 卒業研究II						
専	助教	オハシ ユキ 奥橋 佑基	平成26年4月	フレッシュアーズゼミ 医療科学の基礎I 血液検査学実習I 血液検査学実習II 検査機器総論(含む実習) 臨地実習						
専	助教	イトウ サカ 伊藤 さやか	平成27年4月	フレッシュアーズゼミ 免疫検査学実習 遺伝子検査学実習 臨地実習						
専	助教	ムラカミ ヤ 村田 和也	平成27年4月	フレッシュアーズゼミ 病理検査学実習I 病理検査学実習II 一般検査学実習 臨床検査総合演習 臨地実習			後任未定			平成25年7月 ●●●●助教 一身上の都合により就任辞退。 (平成27年度就任予定のため 支障はない。平成27年4月 までに補充予定。 (26)
専	助教	カガタ ユキ 亀田 貴寛	平成27年4月	フレッシュアーズゼミ 生化学実習 臨床化学検査学III(含む 実習) 臨床化学検査学実習I 臨床化学検査学実習II 臨地実習						
専	助教	ハナミ 花尾 麻美	平成26年4月	フレッシュアーズゼミ 生理検査学実習I 生理検査学実習II 画像検査学実習 臨地実習	専	助教	キノ コスエ 岸井 こずゑ	平成26年4月	フレッシュアーズゼミ	平成25年8月 ●●●●助教 が一身上の都合により就任 辞退のため、担当者の変更 (26)
専	助教	ハナミ 花尾 麻美	平成26年4月	フレッシュアーズゼミ 生理検査学実習I 生理検査学実習II 画像検査学実習 臨地実習			後任未定			平成25年8月 ●●●●助教 一身上の都合により就任辞退。 (平成27年度以降の開講科目 ため支障はない。平成27年 4月までに補充予定。 (26)
専	助教	ハナミ 花尾 麻美	平成27年4月	フレッシュアーズゼミ 生理検査学実習I 生理検査学実習II 画像検査学実習 臨地実習	専	助教	ハナミ 花尾 麻美	平成27年4月	フレッシュアーズゼミ	就任辞退した花尾麻美助教 が、平成27年4月に就任可能 となったため (27)
専	助教	イシイ カ 石井 佳菜	平成27年4月	フレッシュアーズゼミ 微生物検査学実習I 微生物検査学実習II 臨地実習	専	助教	ハナミ 花尾 麻美	平成27年4月	フレッシュアーズゼミ	就任辞退した花尾麻美助教 が、平成27年4月に就任可能 となったため (27)
専	助教	イシイ カ 石井 佳菜	平成27年4月	フレッシュアーズゼミ 微生物検査学実習I 微生物検査学実習II 臨地実習	専	助教	キノ コスエ 岸井 こずゑ	平成26年4月	微生物検査学実習I 微生物検査学実習II 臨地実習	平成25年8月 石井佳菜助教 が一身上の都合により就任 辞退のため、担当者の変更 (26)
兼任	教授	ヤギサキ ノブオ 柳澤 信夫	平成26年4月	医学概論	兼任	教授	ウメダ マサル 梅田 勝	平成27年4月	医学概論	平成27年3月 ●●●●教授 が任期満了による退職のため、 担当者の変更(27)
兼任	教授	タカノ ヤス 高野 康雄	平成26年4月	解剖学 解剖学実習 臨床病理学 病態解析学						
					兼任	教授	アベ タツヒコ 阿部 達彦	平成27年4月	解剖学 解剖学実習	平成26年9月 阿部達彦教授 が着任したため、科目の一部 を担当 (27)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	教授	カトウ マサヒロ 工藤 昌宏	平成26年4月	経済学						
兼任	教授	オカ マサヒロ 奥 正廣	平成26年9月	心理学 コミュニケーション論						
兼任	教授	クワカ シュウイチ 黒川 修一	平成26年4月	芸術論						
兼任	教授	タカハシ キヨシ 高橋 潔	平成26年4月	コンピュータリテラシー 演習Ⅰ コンピュータリテラシー 演習Ⅱ コンピュータ概論Ⅰ コンピュータ概論Ⅱ						
兼任	教授	サマ ユウジ 佐久間 裕司	平成26年9月	スポーツ・コンディショニング 集中実技Ⅱ	兼任	教授	サマ ユウジ 佐久間 裕司	平成27年4月	集中実技Ⅰ	平成26年9月 ●●●●講師が一身上の都合により退職のため、担当科目を追加(27)
兼任	教授	タカ スミ 田中 寿美 (旧姓 勝浦) (カツラ)	平成26年4月	フレッシュマンイングリッシュⅠ フレッシュマンイングリッシュⅡ						
兼任	教授	ヤノ カスヨシ 矢野 和義	平成26年4月	臨床微生物・免疫学	専	教授	ヨコバタ ヤス子 横田 恭子	平成27年4月	臨床微生物・免疫学	●●●●教授の本務が応用生物学部になったため、担当者の変更(27)
					専	教授	オサキ ミツヒロ 岡崎 充宏	平成27年4月	臨床微生物・免疫学	●●●●教授の本務が応用生物学部になったため、担当者の変更(27)
兼任	准教授	イガラシ チヨ 五十嵐 千代	平成27年9月	公衆衛生学 公衆衛生学実習	兼任	教授	ウメダ マサル 梅田 勝	平成27年9月	公衆衛生学 公衆衛生学実習	平成25年10月 梅田勝教授が着任したため、担当者を変更。(26)
兼任	准教授	オチアイ コウタロウ 落合 浩太郎	平成26年4月	政治学						
兼任	准教授	ミヤジ ヒロカ 宮地 寛登	平成26年9月	医療科学の基礎Ⅱ						
兼任	准教授	ムラカミ ヤスシロウ 村上 康二郎	平成26年9月	法学						
兼任	講師	カシバ ミチ 加柴 美里	平成26年9月	医療科学の基礎Ⅱ						
兼任	講師	シズミ ミフミ 志水 美文 (旧姓 下村) (シメムラ)	平成26年9月	医療科学の基礎Ⅱ						
兼任	講師	アベ ヒサカ 安部 久貴	平成26年4月	栄養と健康 集中実技Ⅰ	兼任	講師	ミズタニ アキコ 水谷 晃子	平成27年4月	栄養と健康	平成26年9月 ●●●●講師が一身上の都合により退職のため、担当者の変更(27)
					兼任	教授	サマ ユウジ 佐久間 裕司	平成27年4月	集中実技Ⅰ	平成26年9月 ●●●●講師が一身上の都合により退職のため、担当者の変更(27)
兼任	講師	フクダ ジュン 福田 潤	平成26年4月	生理学 生理学実習						
兼任	講師	ヤマウラ トミオ 山浦 富雄	平成26年4月	物理の基礎 数学の基礎 統計学	兼任	准教授	トミザワ シンヤ 富沢 真也	平成26年4月	物理の基礎 数学の基礎 統計学	平成26年3月 ●●●●教授が一身上の都合により辞退のため、担当者の変更(26)
					兼任	准教授	トミザワ シンヤ 富沢 真也	平成27年4月	数学の基礎 統計学	基礎教育科目担当教員の分担当科目見直しに伴い、担当者の変更(27)
					兼任	講師	カヨイ イツシ 加用 一者	平成27年4月	物理の基礎	基礎教育科目担当教員の分担当科目見直しに伴い、担当者の変更(27)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	ハノ サトシ 橋野 賢	平成27年4月	応用コンピュータⅠ 応用コンピュータⅡ 応用コンピュータ演習Ⅰ 応用コンピュータ演習Ⅱ						
兼任	講師	タケノ スチ 武田 朴	平成27年9月	医用工学概論 医用工学実習						
兼任	講師	ナカガワ アキヒロ 中川 昭博	平成26年4月	哲学						
兼任	講師	ミズノ ヒカリ 水沢 光	平成26年9月	科学論						
兼任	講師	ニシマキ ジョウジ 西巻 丈児	平成27年9月	倫理学						
兼任	講師	エガワ ジュンイチ 江川 純一	平成27年4月	宗教学	兼任	講師	ムスリム イーリヤ ムスリム イーリヤ	平成27年4月	宗教学	平成26年4月 ●●●●兼任講師が一身上の都合により辞任のため、担当者を変更(26)
兼任	講師	ヨコタ ヒロミツ 横田 浩充	平成29年9月	医療リスクマネジメント						
兼任	講師	コカ ケイ 高加 国夫	平成29年4月	保健医療福祉総論						
兼任	講師	オノ ノブオ 太田 伸生	平成27年4月	医動物学(含む実習)						
兼任	講師	アカノ ヒロキ 赤尾 信明	平成27年4月	医動物学(含む実習)						
兼任	講師	クマガイ タカ 熊谷 貴	平成27年4月	医動物学(含む実習)						
兼任	講師	オウボウ シゲオ 大久保 滋夫	平成28年4月	救急総論						
兼任	講師	ソネ シン 曾根 伸治	平成28年4月	救急総論						
兼任	講師	シユヤ ケンイチ 宿谷 賢一	平成28年4月	救急総論						
兼任	講師	フィリップ コリー Philip Colley	平成26年4月	フレッシュマンイングリッシュⅠ フレッシュマンイングリッシュⅡ						
兼任	講師	ミシェル ボチネク Michelle Bochenek	平成26年4月	フレッシュマンイングリッシュⅠ フレッシュマンイングリッシュⅡ						

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。  
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。  
 ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。  
 ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。  
 ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成27年5月1日現在の満年齢を記入してください。  
 ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。  
 ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**  
 ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。  
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度( )書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数

設置時の計画					変更状況					年齢構成		年齢構成(前年度の状況)	
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数
5	2	3	6	16	5	2	3	6	16	65	0	65	0
( 5 )	( 2 )	( 2 )	( 2 )	( 11 )	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	歳	名	歳	名

- (注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成27年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)
- ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、および、平成27年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。
  - ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
  - ・「年齢構成(前年度の状況)」については、報告書提出の前年度の状況を記載してください。今年度初めて報告書を提出する場合は記入不要ですので、「-」を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由「該当なし」

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1			
2			
3			

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。  
・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および（）書きで報告年度を記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等  
「該当なし」

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時			
設置計画履行状況 調 査 時			
設置計画履行状況 調 査 時			
設置計画履行状況 調 査 時			

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

## 7 その他全般的事項

<医療保健学部 臨床検査学科>

### (1) 設置計画変更事項等「該当なし」

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>a 委員会の設置状況</p> <p>東京工科大学企画推進会議（以下「企画推進会議」）を設置して 教員の資質維持・向上を含め全学的な諸改革の推進について検討を行っている。 また、学長諮問委員会として、次の委員会を設置し、全学的なFD活動に取り組んでいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・FD委員会</li> <li>・教育力強化委員会</li> </ul> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企画推進会議は、原則として月1回開催し、学長、研究科長、各学部長、学環長、研究所長、学長補佐、教務部長、学生部長、就職部長、事務局長、学長室長で構成している。</li> <li>・平成26年度は、8月を除き全11回開催し、平成27年度も4月に第1回を開催している。</li> <li>・FD委員会は、別に実施している全学教職員会におけるテーマ設定を目的として、平成26年度に2回開催した。</li> <li>・教育力強化委員会は、専任の全教員に実施している教員相互の授業点検における結果の検証、点検項目の改善等を目的として、平成26年度は3回開催した。</li> <li>・企画推進会議は、前期・後期で開催日を決めて開催していること、FD委員会、教育力強化委員会は構成員の予定を考慮のうえ開催日を調整していることから、ほぼ全員が出席している。</li> </ul> <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企画推進会議では、学部独自のFD活動やFD委員会で設定した全学教職員会のテーマについて報告・意見交換を行うとともに、FD活動に限らず学部の取り組みなどについて報告・審議する。</li> <li>・FD委員会では、本学の課題や取り組むべき事項を抽出するとともに、全学教職員会のテーマについて審議する。</li> <li>・教育力強化委員会では、教員相互の授業点検に関し、点検結果の検証や評価の低い教員への再点検の要否、点検項目の見直し等について審議する。</li> </ul> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教員相互の授業点検（教育力強化委員会）</li> <li>・全学教職員会（FD委員会）</li> <li>・新任教員研修会</li> <li>・アゴラ</li> <li>・授業評価アンケート</li> </ul>
---

b 実施方法

・教員相互の授業点検

専任教員の授業を、当該学部長・学環長、当該学部・学環教務委員長等数名の教員で授業評価表をもとに客観的な評価をし、その結果をもとに評価を受けた教員と評価をした教員が面談を実施している。  
平成27年度からは実験系の科目でも、この授業点検を実施すべく教育力強化委員会で検討している。

・全学教職員会

八王子・蒲田の両キャンパスで原則として月1回全教職員を構成員とする全学教職員会を開催し、当該年度の学長方針等をはじめ、全教職員が本学のおかれている状況と問題意識の共有を図り、教職協働で教育の向上や学生支援に役立てている。

・新任教員研修会

新任教員を対象に、学長からは本学の理念と目標、教育研究に関することについて訓話があり、その後、事務局からは本学の行動規範、就業規則等諸規程及び各部署の役割について説明している。

・アゴラ

学部・学環ごとに当該組織の教育・研究に関する討論の場として、アゴラを原則として月1回開催している。  
このアゴラには、事務局は参加せず完全に教員のみによる活発な討論の場としている。

・授業評価アンケート

開講している全授業科目について学生による授業評価アンケートを実施している。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

・教員相互の授業点検

平成26年度は大学全体で82名（臨床検査学科は2名）の専任教員の授業点検を実施した。

・全学教職員会

平成26年度は蒲田キャンパスで下記のテーマにより全10回開催し、平均出席率は約80%である。

- |                      |                            |
|----------------------|----------------------------|
| 第1回：平成26～29年度の大学運営方針 | 第6回：オープンエデュケーションの現状と展望     |
| 第2回：学部・研究科の基本方針      | 第7回：アクティブラーニングを利用した学長賞の取組み |
| 第3回：世界のFDの課題－欧米と日本－  | 第8回：創価大学におけるピアサポートの取組みと事例  |
| 第4回：大学新ITの教育利用       | 第9回：卒業研究への取組み方について         |
| 第5回：国際教養スタンダードに向けて   | 第10回：学生のメンタルヘルスケアについて      |

・新任教員研修会

蒲田キャンパスでは、平成26年、平成27年ともに4月1日・2日の両日で新任教員研修会を開催し、新任教員全員が出席した。4月1日は、事務局から就業上の説明を行い、4月2日は学長から理念・目標をはじめ、本学の学生と教育の特徴などの訓話を行った。

・アゴラ

本学では、各学部・学環で原則月1回アゴラを開催している。このアゴラの開催については、大学評議会、教授会と同様に本学における重要な会議のひとつとしていることから、前期・後期であらかじめ開催日程を定めていることから、ほぼ全教員が出席している。平成26年度医療保健学部は下記のテーマで開催した。

- 第1回：アゴラとは、新任教員紹介
- 第2回：ディスカッションのグループ分けについて、本年度意見交換を行いたいテーマの募集
- 第3回：国家試験の全員合格に向けて（昨年度の経験、問題点、反省点、を前向きにとらえた今年度の取り組み）
- 第4回：大学院の設立に向けての課題、取り組みについて
- 第5回：後期のアゴラの話し合いテーマについて
- 第6回：初年度教育について（特にフレッシュャーズゼミ）
- 第7回：国家試験対策の現状について
- 第8回：初年度教育について（特にフレッシュャーズゼミ）
- 第9回：moodleについて

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

教員相互の授業点検は、平成26年度までに教員一人あたり2回の点検を受けている。その結果をみるとほぼ全ての教員が授業の内容・方法に改善がみられており、授業改善の取組みとしては、大きい成果をあげている。この教育力強化委員会による授業点検は、自己点検・評価の一環として実施しており、引き続きPDCAサイクルによる授業改善に取り組むこととしている。また、授業改善としては他の教員の授業をみることによる自己改善にも大きな成果があることから、新任教員については、着任年度内に3回の授業参観を義務づけ、本学の教育、本学の学生を理解したうえで授業方法の検討に資することとしている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

昨年度前期は7月中旬（授業回：14回目）、後期は12月中旬（授業回：14回目）に実施した。

b 教員や学生への公開状況、方法等

アンケート結果は、当該教員と当該教員が属する学部長・学環長にフィードバックしている。

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

臨床検査学科では、日進月歩で進む医療を支える臨床検査の最新知識を学び、正しい診断情報を提供する臨床検査のエキスパートとなる有為な臨床検査技師を育成することを目的としている。

この目的を達成すべく1年次生は臨床検査概論の授業として地域中核の大学病院に見学を行い、臨床検査技師を目指す志の高揚を行った。その効果もあり、1期生は昨年度退学・休学者が0名であった。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成27年3月 公表済

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開

③ 認証評価を受ける計画

・平成26年度に評価機関（（公財）日本高等教育評価機構）で評価を受けた。

・平成33年度までに評価機関（未定）で第3回目の評価を受ける。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

( 有 ・ 無 )

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

( 平成27年9月30日 )